



# 株主の皆様へ

第195期 中間事業報告書

平成24年1月1日から平成24年6月30日まで

信頼を未来へ

東京建物株式会社

証券コード：8804



代表取締役社長  
佐久間 一

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

中間事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社グループは、前期に赤字決算となったことを踏まえ、当期より3年間を対象としたグループ中期経営計画「**Re-Start** ～自己変革への挑戦～」(2012～2014年)を新たに策定し、その初年度をスタートいたしました。「選択と集中の構造改革」と「バリューチェーンの最適化」を軸とした変革を図り、収益力・財務体質の強化を徹底的に進め、将来の飛躍に向けた足場固めを図ってまいります。

また、当第2四半期累計期間(平成24年1月～6月)におきましては、大規模複合再開発事業「中野セントラルパーク」が5月に竣工し、総戸数1,000戸を超える分譲マンション「Brillia多摩ニュータウン」、「Brillia City横浜磯子」の販売を開始したほか、中国では、中国の大手不動産会社である万科グループと、分譲マンションを中心とする複合開発事業を進めております。

当社グループを取り巻く事業環境は、欧州債務問題に起因する海外経済の減速等により景気が下振れするリスクがあるなど、先行きについての不透明感が増しており、予断を許さない状況が続くものと考えられますが、通期の連結業績予想の着実な達成と期末の配当に向け、グループ一丸となって鋭意取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年9月

### 企業理念 Corporate Philosophy

## 「信頼を未来へ」

世紀を超えた信頼を誇りとし、  
企業の発展と豊かな社会づくりに  
挑戦します。

私たちは、豊かで夢のある暮らしを応援します。

私たちは、快適な都市環境づくりを目指します。

私たちは、価値あるやすらぎの空間を創造します。

# 連結業績の概況

## Consolidated Results Overview

当第2四半期累計期間のわが国経済は、欧州債務問題に起因する海外経済の減速、円高の長期化、原油価格の上昇等の影響により輸出の伸び悩み等があったものの、政策支援等を背景とした個人消費の増加や、震災復興需要の本格化に伴う公共投資の増加等により、持ち直しの動きが見られました。

当不動産業界におきましては、賃貸オフィス市場については、新築ビルの大量供給等により、空室率の高止まりが続き、賃料水準も弱含みで推移するなど、厳しい事業環境が続きました。分譲住宅市場については、低金利の継続や政府による税制優遇等の効果もあり、需要は底堅く推移しました。また、不動産投資市場については、J-REITにおいて新規上場や公募増資が増加し物件取得も活発化するなど、回復の兆しが見えてきました。

このような事業環境のもと、当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、住宅事業において、マンション等の竣工が第3四半期以降に集中していることから売上計上戸数が前年第2四半期累計期間(以下、「前年同期」という)比で大幅に減少したものの、ビル等事業において、当社が出資するSPCが「(仮称)大手町1-6計画」の敷地(底地)を売却したことに伴う配当収益を計上したこと等により、営業収益は896億9千4百万円と、前年同期比で増収(前年同期883億2千1百万円)となりました。また、前述のビル等事業における配当収益等が寄与し、営業利益は213億6千3百万円(前年同期69億6千万円)、経常利益は167億9千7百万円(前年同期23億1千6百万円)、四半期純利益は107億2千5百万円(前年同期10億7千9百万円)と、共に前年同期比で大幅な増益となりました。

## 連結財務ハイライト Consolidated Financial Highlights

■ 第2四半期累計(中間) ■ 通期

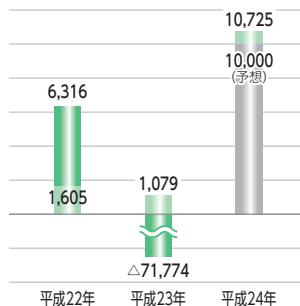
営業収益 (単位:百万円)



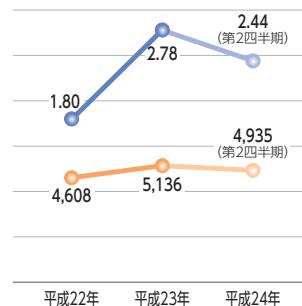
営業利益 (単位:百万円)



純利益 (単位:百万円)



● D/Eレシオ (単位:倍)  
● 有利子負債 (単位:億円)



# セグメント別 業績の概況

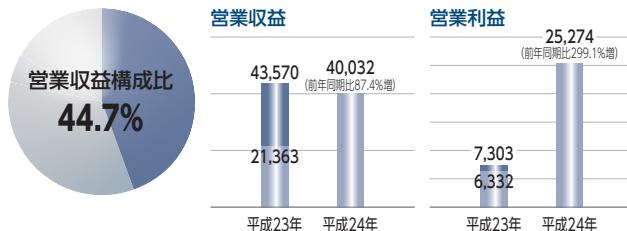
## Business Segment Overview

■第2四半期累計(中間) ■通期 (単位:百万円)

### ビル等事業



「東京建物八重洲ビル」(東京都中央区)が通期稼働したほか、当社が出資するSPCが「(仮称)大手町1-6計画」(東京都千代田区)の敷地(底地)及び「TIXTOWER UENO」(東京都台東区)を売却したことに伴う配当収益を計上したこと等により、前年同期比で増収増益となりました。



### 住宅事業



マンション分譲では、「オーシャンレジデンス 辻堂海浜公園」(神奈川県藤沢市)、「Brillia レジデンス六甲アイランド」(神戸市)等を売上計上したものの、マンション等の竣工が第3四半期以降に集中していることから売上計上戸数が大幅に減少したことや、一部の物件において販売価格を見直したことに伴う評価損を計上したこと等により、前年同期比で大幅な減収減益となりました。



### 不動産流通事業



仲介事業では、法人仲介・個人仲介共に手数料収入が増加したものの、アセットソリューション事業において、販売用不動産の売却が減少したこと等により、全体では前年同期比で減収減益となりました。また、個人仲介では、当社既分譲マンションの一部について、建物検査を実施し一定の保証を提供するサービス「Brillia認定中古マンション制度」を2月より開始し、仲介シェアの拡大に努めてまいりました。



### その他事業



その他事業として、余暇事業、リフォーム事業、時間貸駐車場事業、資産運用事業、海外事業等を行っておりますが、余暇事業において震災による影響から持ち直し業績が改善したことや、時間貸駐車場事業において前年第1四半期末に連結子会社化した日本パーキング株式会社が通年で業績に寄与したこと等から、全体では前年同期比で増収増益となりました。



## プロジェクトのご紹介

新しい価値を社会に提供し続ける「東京建物のまちづくり」。私達はお客様の立場に立ったものづくりで社会に貢献しています。

東京建物グループが展開するプロジェクトの一部をご紹介します。

# 住宅事業

「Brillia(ブリリア)」を中核に、  
良質なマンションや  
戸建を供給しています。

「人が、輝く」暮らしの実現を目指し、常に「住まう人の視点」で良質なマンション・戸建の供給に努めています。また、住宅市場の動向を見据え、賃貸住宅の分野にも事業を展開。グループのノウハウ・総合力を結集し、良質な住空間創造と質の高い管理運営に注力しています。

# Brillia

## Projects Introduction

### ■ Brillia多摩ニュータウン

多摩ニュータウンで、日本最大\*のマンション建替えプロジェクトが進行中です。

新たに「Brillia多摩ニュータウン」と命名されたこの街のコンセプトは、40年にわたり培われた街の資産を「継承」しながら、「共生=コミュニティ」「永続=サステナブル」「環境=エコ」という3つの考え方を柱に、次世代の街を「創造」すること。全7棟・1,249家族もの人々が暮らすビッグタウンだからこそ、豊かなコミュニティを育めるような街づくりを行ってまいります(平成25年10月竣工予定)。

※1973年以降の民間分譲マンションにおいて、建替え物件としては総戸数が最大となります(平成23年9月時点、(株)不動産経済研究所調べ)。



### ■ Brillia City横浜磯子

横浜磯子の象徴として半世紀にわたり地元の人々に愛され続けた横浜プリンスホテルの跡地が、1,230邸の大規模マンションに生まれ変わります。

海を見下ろす丘の上に誕生する「Brillia City横浜磯子」の大きな特徴は、森からの風と潮風が同時に感じられる自然環境。この恵まれた環境を最大に活かして、総開発面積約117,000㎡という広大な敷地に、多彩な表情を楽しめる大きな街を形成します。先進の都市機能を楽しみながら、豊かな自然に触れ合える、この地だからこそ実現できる憧れの暮らしが始まります(平成26年2月全体竣工予定)。



## ビル事業

全国主要都市で  
都市開発事業を展開し、  
地域の活性化に  
貢献しています。

当社は都市開発に関する豊富なノウハウと不動産証券化の仕組みを活用することで、全国主要都市で地域の活性化に貢献しています。また、都市再開発のコーディネートやコンサルティングなどにも積極的に取り組んでいます。

### ■日本橋TIビル 本年7月竣工



大規模開発により活気づく日本橋エリア。その進化し続ける日本橋の中でも東京メトロ銀座線・半蔵門線の「三越前」やJR線の「神田」「新日本橋」など3駅6路線が徒歩圏の好立地に、本年7月、新たなビルが誕生しました。この「日本橋TIビル」は、高い耐震性と高い安全性、環境性に配慮した最新スペックのオフィスビルです。

本物件が位置する日本橋を含めた「八重洲・京橋・日本橋」エリアにおいて、今後より一層、地域と融合した開発事業や地域貢献活動を進めてまいります。

### ■大手町フィナンシャルシティ ノースタワー 本年10月竣工予定

国際金融や情報・メディアなどの分野において、日本を支える重要なビジネス拠点として目覚ましい発展を遂げてきた東京・大手町エリアが生まれ変わります。大手町地区を国際ビジネスの戦略拠点へと再構築する連鎖型都市再生プロジェクト。高度情報社会に対応する先進機能を導入したオフィスビルを整備。緑あふれる都市空間やアメニティを創造するなど、世界有数の国際ビジネスセンターに相応しい街づくりを進めています。



# FOCUS!

## 中野セントラルパーク 本年5月全体竣工

—緑の中で働く—

これまでにない公園都市が中野に誕生。

中野駅至近の「中野四季の都市」における大規模複合開発事業「中野セントラルパーク」が本年5月、全体竣工しました。本プロジェクトの最大の特徴は、オフィスの目前に広がる約3haもの緑豊かなオープンスペース。プロムナード沿いに展開するデッキでの青空会議やランチミーティングなど、緑地空間をオフィスの一部として利用する、新たなワークスタイルを提案します。

また、2棟構成のオフィスにはそれぞれ免震構造・制震構造を採用し、防災備蓄倉庫・防災井戸やテナント専用の非常用自家発電機設置スペースを確保する等、企業の事業継続性に配慮した多彩な防災機能を備えています。



1フロア約1,500坪(南棟)、  
約850坪(東棟)を誇るメガプレートのオフィス。

制震・免震構造のオフィス棟。  
再開発エリア全体が災害時の防災拠点(広域避難場所)。

オフィスの目前に広がる約3haの緑豊かな空間。

JR中央線・総武線、東京メトロ東西線「中野駅」至近。  
駅前整備により、ますます便利に。

NAKANO CENTRAL PARK

オフィシャルサイト  
[www.nakano-centralpark.jp](http://www.nakano-centralpark.jp)

新しいオフィスのありかたを考えるPARK OFFICE LABO  
[www.park-office.jp](http://www.park-office.jp)

## ■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

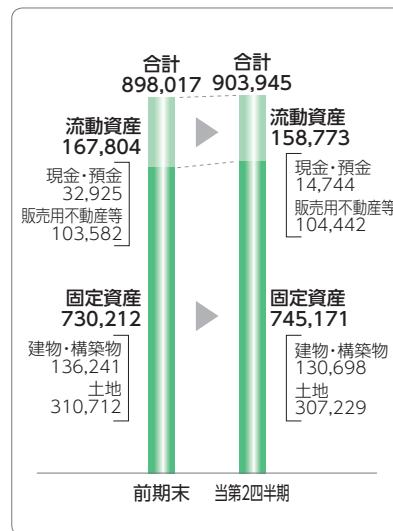
| 科目             | 前期末<br>平成23年12月31日現在 | 当第2四半期<br>平成24年6月30日現在 |
|----------------|----------------------|------------------------|
| <b>資産の部</b>    |                      |                        |
| 流動資産           | 167,804              | 158,773                |
| 固定資産           | 730,212              | 745,171                |
| 有形固定資産         | 458,710              | 449,977                |
| 無形固定資産         | 28,218               | 29,581                 |
| 投資その他の資産       | 243,283              | 265,612                |
| <b>① 資産合計</b>  | <b>898,017</b>       | <b>903,945</b>         |
| <b>負債の部</b>    |                      |                        |
| 流動負債           | 197,395              | 198,371                |
| 固定負債           | 508,521              | 495,732                |
| <b>② 負債合計</b>  | <b>705,916</b>       | <b>694,104</b>         |
| <b>純資産の部</b>   |                      |                        |
| 株主資本           | 159,788              | 170,333                |
| 資本金            | 92,451               | 92,451                 |
| 資本剰余金          | 90,696               | 63,518                 |
| 利益剰余金          | △22,812              | 14,911                 |
| 自己株式           | △546                 | △547                   |
| その他の包括利益累計額    | 25,149               | 32,163                 |
| その他有価証券評価差額金   | 11,153               | 17,375                 |
| 土地再評価差額金       | 16,446               | 16,625                 |
| 為替換算調整勘定       | △2,450               | △1,837                 |
| 少数株主持分         | 7,163                | 7,344                  |
| <b>③ 純資産合計</b> | <b>192,101</b>       | <b>209,841</b>         |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>898,017</b>       | <b>903,945</b>         |

### ③ 純資産合計

四半期純利益およびその他有価証券評価差額金の増加等により、純資産合計は2,098億4千1百万円(前期末比177億3千9百万円増)となりました。

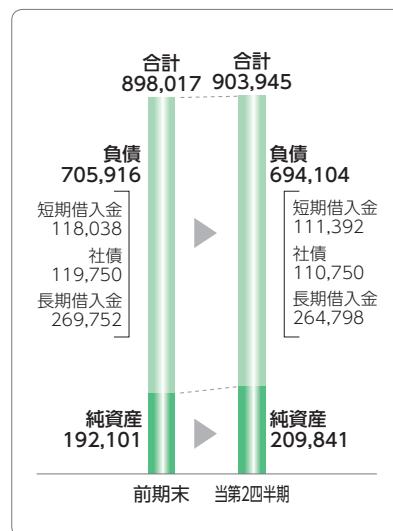
### ① 資産合計

賃貸マンションの売却等による有形固定資産の減少等があった一方、SPCへの出資および上場株式の時価評価等による投資有価証券の増加等により、資産合計は9,039億4千5百万円(前期末比59億2千7百万円増)となりました。



### ② 負債合計

繰延税金負債の増加等があった一方、社債100億円を償還したこと等による有利子負債の減少により、負債合計は6,941億4百万円(前期末比118億1千2百万円減)となりました。なお、有利子負債残高(リース債務除く)は4,935億6千1百万円(前期末比200億5千4百万円減)となりました。



## ■ 四半期連結損益計算書

(単位: 百万円)

| 科目                     | 前第2四半期(累計)<br>平成23年1月 1日から<br>平成23年6月30日まで | 当第2四半期(累計)<br>平成24年1月 1日から<br>平成24年6月30日まで |
|------------------------|--|--|
| <b>1 営業収益</b>          | <b>88,321</b>                              | <b>89,694</b>                              |
| 営業原価                   | 70,266                                     | 58,106                                     |
| <b>営業総利益</b>           | <b>18,054</b>                              | <b>31,588</b>                              |
| 販売費及び一般管理費             | 11,094                                     | 10,224                                     |
| <b>2 営業利益</b>          | <b>6,960</b>                               | <b>21,363</b>                              |
| 営業外収益                  | 761  | 735  |
| 営業外費用                  | 5,405                                      | 5,301                                      |
| <b>経常利益</b>            | <b>2,316</b>                               | <b>16,797</b>                              |
| 特別利益                   | 151  | 2,439                                      |
| 特別損失                   | 878  | 823  |
| <b>税金等調整前四半期純利益</b>    | <b>1,589</b>                               | <b>18,413</b>                              |
| 法人税、住民税及び事業税           | 300  | 1,100                                      |
| 法人税等調整額                | 52   | 6,378                                      |
| <b>少数株主損益調整前四半期純利益</b> | <b>1,235</b>                               | <b>10,934</b>                              |
| 少数株主利益                 | 156  | 209  |
| <b>四半期純利益</b>          | <b>1,079</b>                               | <b>10,725</b>                              |

### 1 営業収益

住宅事業において分譲住宅の売上計上戸数の減少により減収となった一方、ビル等事業において当社が出資するSPCが「(仮称)大手町1-6計画」の敷地(底地)を売却したことに伴う利益を配当収益として計上し増収となったこと等により、営業収益は896億9千4百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

### 2 営業利益

ビル等事業における上記増収要因、および前第1四半期末に連結子会社化した日本パーキング(株)が通期に寄与したこと等により、営業利益は213億6千3百万円(前年同期比206.9%増)となりました。

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

| 科目                        | 前第2四半期(累計)<br>平成23年1月 1日から<br>平成23年6月30日まで | 当第2四半期(累計)<br>平成24年1月 1日から<br>平成24年6月30日まで |
|---------------------------|--|--|
| <b>1 営業活動によるキャッシュ・フロー</b> | <b>△1,788</b>                              | <b>19,057</b>                              |
| <b>2 投資活動によるキャッシュ・フロー</b> | <b>△23,403</b>                             | <b>△16,762</b>                             |
| <b>3 財務活動によるキャッシュ・フロー</b> | <b>29,737</b>                              | <b>△20,514</b>                             |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高          | 15,465                                     | 14,742                                     |

### 1 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益、減価償却費による資金の増加があったこと等により、営業活動による資金の増加は190億5千7百万円となりました。

### 2 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券および固定資産の取得による資金の減少があったこと等により、投資活動による資金の減少は167億6千2百万円となりました。

### 3 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済および社債の償還による資金の減少があったこと等により、財務活動による資金の減少は205億1千4百万円となりました。

▶ 当社ホームページをご活用ください。



詳しい財務データ等は  
当社ホームページをご活用ください。

<http://www.tatemono.com/ir/>

東京建物 IR 検索

# 会社の概要

Corporate Data

## ■ 会社の概要

(平成24年6月30日現在)

|              |  |
|--------------|--|
| 商号<br>(英文名称) | 東京建物株式会社<br>(Tokyo Tatemono Co., Ltd.)               |
| 設立年月日        | 明治29年10月1日   |
| 資本金          | 92,451,442,786円                                      |
| 従業員数         | 446名(ほか臨時従業員数96名)                                    |
| 本支店所在地       | 〒103-8285<br>東京都中央区八重洲一丁目9番9号<br>電話(03)3274-0111(代表) |
| 本店           | 〒541-0041<br>大阪市中央区北浜三丁目7番12号<br>電話(06)6202-0111(代表) |
| 関西支店         | 〒060-0807<br>札幌市北区北七条西一丁目2番地6<br>電話(011)717-0111(代表) |
| 札幌支店         | 〒810-0001<br>福岡市中央区天神二丁目8番49号<br>電話(092)761-0110(代表) |
| 九州支店         | 〒460-0003<br>名古屋市中区錦二丁目20番8号<br>電話(052)202-0301(代表)  |
| 名古屋支店        |  |

## ■ 当社グループの概要

(平成24年6月30日現在)

|         |   |
|---------|---|
| 主要な事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ビル等事業<br/>事務所用ビル等の開発、賃貸及び管理</li> <li>●住宅事業<br/>マンション、戸建住宅の開発、販売、賃貸及び管理</li> <li>●不動産流通事業<br/>不動産の売買、仲介、鑑定評価及びコンサルティング</li> <li>●その他事業<br/>余暇事業、リフォーム事業、時間貸駐車場事業、資産運用事業、海外事業その他</li> </ul> |
|---------|---|

|           |  |
|-----------|--|
| 主要なグループ会社 | <p><b>東京建物不動産販売株式会社</b><br/>〒163-0647 東京都新宿区西新宿一丁目25番1号</p> <p><b>株式会社東京建物テクノビルド</b><br/>〒130-0012 東京都墨田区太平四丁目1番3号</p> <p><b>株式会社東京建物アメニティサポート</b><br/>〒130-0012 東京都墨田区太平四丁目1番3号</p> <p><b>東京建物リゾート株式会社</b><br/>〒103-0028 東京都中央区八重洲一丁目9番9号</p> <p><b>日本パーキング株式会社</b><br/>〒102-0084 東京都千代田区二番町10番地5</p> |
|-----------|--|

## ■ 役員

(平成24年6月30日現在)

|            |                          |
|------------|--------------------------|
| 取締役会長      | はた なか まこと<br>畑 中 誠       |
| 代表取締役社長    | さくま はじめ<br>佐久間 一         |
| 代表取締役専務取締役 | さる た あき さと<br>猿 田 明 里    |
| 代表取締役専務取締役 | かとう かず まさ<br>加 藤 和 政     |
| 常務取締役      | しば やま ひさ お<br>加 山 久 雄    |
| 常務取締役      | うす い たつ お<br>碓 氷 辰 男     |
| 常務取締役      | こし みず しゅういちろう<br>興 水 秀一郎 |
| 常務取締役      | の のむら ひとし<br>野 村 均       |
| 常務取締役      | ふじ もと さとし<br>藤 本 聡       |
| 取締役        | いづみ たけお<br>乾 武 生         |
| 取締役        | よし だ しん じ<br>吉 田 慎 二     |
| 取締役        | やし ない よし き<br>矢 内 良 樹    |
| 取締役        | こう の いち ろう<br>高 野 一 郎    |
| 取締役        | はな だ つとむ<br>花 田 努        |
| 取締役        | ふく い けん こ<br>福 居 賢 悟     |
| 監査役(常勤)    | くぼ た まさ み<br>久保 田 正 美    |
| 監査役(常勤)    | おお かわ じゅんいちろう<br>大 川 純一郎 |
| 監査役        | かわ ぎし てつ や<br>川 岸 哲 哉    |
| 監査役        | しげ もり ゆか<br>重 森 豊        |

# 株式の概況 Stock Overview

## ■ 株式の状況 (平成24年6月30日現在)

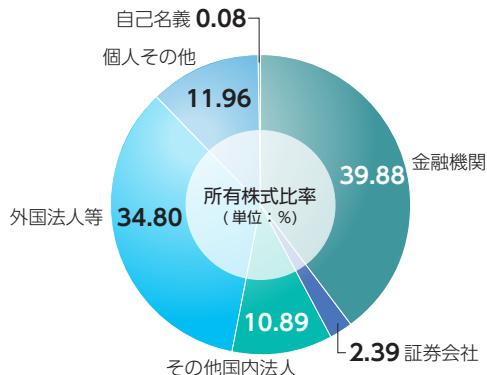
|          |              |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 800,000,000株 |
| 発行済株式総数  | 433,059,168株 |
| 株主総数     | 18,741名      |

## ■ 大株主 (平成24年6月30日現在)

| 株主名   | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)                       | 37,005  | 8.55    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                         | 36,441  | 8.42    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)                      | 18,135  | 4.19    |
| 株式会社損害保険ジャパン                                    | 10,484  | 2.42    |
| 明治安田生命保険相互会社                                    | 9,458   | 2.19    |
| ザ バンク オブ ニューヨーク トリーティー<br>ジャスデツク アカウト           | 9,209   | 2.13    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)                      | 6,361   | 1.47    |
| ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ<br>ロンドン エス エル オムニパス アカウト | 6,243   | 1.44    |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)                       | 5,670   | 1.31    |
| 大成建設株式会社  | 5,250   | 1.21    |

(注)持株比率は自己株式(364,626株)を控除して計算しております。

## ■ 所有者別状況 (平成24年6月30日現在)



## 株主メモ

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 事業年度                     | 1月1日から12月31日まで   |
| 定時株主総会                   | 3月中  |
| 定時株主総会基準日                | 12月31日   |
| 期末配当基準日                  | 12月31日   |
| 中間配当基準日                  | 6月30日  |
| 単元株式数                    | 1,000株   |
| 株主名簿管理人及び<br>特別口座の口座管理機関 | みずほ信託銀行株式会社  |
| 同連絡先                     | 〒168-8507<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>みずほ信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話 0120-288-324(フリーダイヤル)  |
| 公告方法                     | 電子公告<br>・電子公告掲載アドレス<br><a href="http://www.tatemono.com/ir/">http://www.tatemono.com/ir/</a><br>但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。 |

## 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(1,000株未満)をご所有の株主様は、次の制度をご利用いただけます。

- 1単元(1,000株)にするため、不足する数の株式数を当社から購入する「買増制度」
- 2単元未満株式を当社に売却する「買取制度」  
お手続きの詳細は、「お取引の証券会社」または「みずほ信託銀行株式会社 証券代行部(電話0120-288-324)」にお問い合わせください。

### ●買増・買取制度の例(400株ご所有の場合)



地球の未来のために……

## 東京建物の 環境負荷低減への 取り組み

# Vol.5

当社は、ビル・住宅・商業施設・リゾート施設などの企画から開発、運営、リニューアル、解体までのあらゆる過程において、資源の適正利用や環境負荷低減に努めています。

## 住宅事業における環境負荷低減への取り組み 「Brillia エココンセプト」のご紹介



### すべての人の笑顔を想う Brillia eco

当社の分譲マンションBrilliaは「みどりを想う」「くらしを想う」「みらいを想う」という3つのコンセプトをベースとしています。

住まう方にとって、自然のやすらぎを感じ、環境と家計にもやさしく、そこに交流が生まれる—そんな住まいをBrilliaは今後も追求していきます。

Brillia eco concept

東京建物が提唱する3つのエココンセプト



緑溢れる  
「グリーン&クール」な  
住空間

建物と敷地内を緑化することで建物内部と建物周辺の暑熱を緩和し、快適な住空間を創造。景観形成と美観の向上や自然や季節の変化を身近に感じる役割を果たし、住まう方に真のやすらぎを与えます。



高効率でクリーンな  
住宅設備機器の導入

住戸のダウンライトには、光量や消費電力が少ない長寿命の蛍光灯型照明器具などを選定。エコでクリーンな設備機器などの導入を行い、環境と家計を住まいのハード面からサポートする高効率なエコ住宅を目指しています。



エネルギーと緑の  
「エコライフサイクル  
向上計画」

建物の引渡し後の維持管理を通じて、環境配慮につなげていく取り組み。管理会社による住まいのエネルギー消費量、削減に関するアドバイスをしたり、住民参加型の環境に関わるイベントなど実施し、コミュニティ形成をサポートします。

### ■「Brillia多摩ニュータウン」(平成25年10月竣工予定)



Brillia多摩ニュータウンの広大な敷地には約6,900㎡にもおよぶ多くの緑が残されています。その自然を活かし、誰もがいつでも触れられるよう、さまざまな施設をご用意しました。



# 東京建物

お問い合わせ先  
〒103-8285 東京都中央区八重洲一丁目9番9号  
電話(03)3274-0111(代表)  
<http://www.tatemono.com/>

